

「大磯町新庁舎整備基本計画」見直し後の新庁舎整備に関する意見募集の実施結果について

1 実施期間 令和6年7月20日（土）から令和6年8月2日（金）まで

2 意見募集結果

(1) 提出者 17名

(2) 意見数 39件

番号	分類	意見	町の考え方
1	その他	1人あたりの町民負担額を算出し、それを町民へ展開する事により、必要と希望を切り分けて議論する方が望ましいと考えます。	今後の説明の機会にて、参考にさせていただきます。
2	防災	1階が浸水して大量の土砂が流れ込んだときのシナリオ作りが重要かもしれないです。	1階が浸水した場合でも上層階へアクセスできるよう、外階段を設けるなどの措置を講じます。
3	その他	基本計画の6つの基本方針、この方針に異を唱えるつもりはありませんが、この方針はどこにでもある今は当然の方針であります。 新庁舎建設にあたっては、大磯町の未来が見える（イメージできる）大きな理念がその冒頭にあるべきではないでしょうか!!その理念が形として新庁舎に具現化されるべきだと思います。 (1)未来の（これからの）大磯町、文化と歴史、緑豊かな住み良い議場の町をイメージする庁舎の建設を目指します。 付加して(4)の省エネルギーな庁舎 太陽光等の発電と共に大型の蓄電設備を備え、災害時の庁舎の機能維持と住民サービスに供する。 新庁舎の建築に伴い、旧庁舎を壊す計画が有るようですが旧庁舎を部分改修して旧庁舎を住民あるいは他からの誘客に利用する考えは無いのでしょうか。例えば、美術品倉庫として日本で有力なギャラリーに低価格で貸し出し、その見返りに優れた作品展を開いてもらう。小スペースの倉庫は、作家に貸し出す事により自然にアーティストの集まる基地になる。（東京の美	新庁舎整備については、基本計画で定めた基本理念、基本方針を基に必要な見直しを行い、進めていきます。 なお、基本計画では、新庁舎を現在の駐車場の敷地に建設し、建設後に現庁舎を解体し、跡地を駐車場として整備することとしています。 また、議場については、議席などの什器類を可動式にするなど、多目的に使うことができるような措置を講じることについて検討します。なお、新庁舎に音楽ホールを設けることについては、敷地の面積や建物の法的な高さ制限により、難しいと考えております。音楽ホールに関しては、新庁舎整備の中だけでなく、今後の公共施設整備全体の中での検討が必要と考えます。

番号	分類	意見	町の考え方
		術品倉庫は、高額。品川の天王洲にある寺田倉庫は現在アートの発信基地化している。大磯は地理的に JR 一本、高速道路からの利便性良く作品運送に適している。) 一方、音楽について議場を音楽ホールとして使用する意見もあるようですが発想を逆転して音響の良いホールを作ってそこで議会を開く。そうすれば、新たに音楽ホールを作る必要はないのではないのでしょうか。客席 150～200 の優れた小ホール、プロの音楽家が演奏したくなるようなホールを作り、議会はそこで開いてもらう。仮の新庁舎の平面図は短形、直角が基本形になっていますが少し形を変え旧庁舎のアクセスを良くする事も可能では？ 飛び地になるサンライフの隣地を音楽ホール議場にする事も検討できるのでは？ 全体、建ぺい率、容積率の検討は必要と考えますが。	
4	防災	50 年後の環境の変化をしっかりと考慮して町民の為に災害に強い庁舎を建てて下さい。費用の事ばかりに注目せず、町民や職員が利用しやすい事を第 1 に考えてほしいです。	基本方針の中で、「(1)防災の拠点となる安全安心の庁舎」、「(5)経済的で合理的な永く使える庁舎」といった項目を掲げています。 災害に強く、変化に柔軟に対応できる庁舎に向け、コスト面を考慮しつつ必要な整備を行ってまいります。
5	その他	①新庁舎平面図について 新庁舎と車道通路とマンションとの位置関係について具体的に示してください。	現時点で想定している新庁舎の配置図については、別紙「平面図」をご参照ください。 なお、こちらは現時点での想定であり、詳細は、今後プロポーザルによって決定した事業内容を基に、基本設計・実施設計を経て決定していきます。
6	その他	②新庁舎の国道から駐車場への車道幅の表示をお願いします。	現時点での想定では、国道から駐車場までの車道通路の幅は 6 m ～ 6.5 m とし、往復の 2 車線を確保することとしています。詳細は、今後の基本設計・実施設計の中で決定していきます。

番号	分類	意見	町の考え方
7	環境	③植栽について マンションとの境目に植栽をお願いします。	基本方針の「(4)環境と共生する省エネルギーな庁舎」の中に、緑化環境の保全を掲げています。自然との共生や近隣配慮の観点からも緑化について検討します。
8	その他	④駐車場・駐輪場は、東側寄りに願います。(騒音とプライバシーの問題あり)	現段階の想定では、現庁舎・保健センター跡地に平面駐車場を整備することとしています。今後の基本設計・実施設計の中で、近隣への配慮(目隠しなど)を検討します。
9	その他	⑤屋上展望台について 避難の為のみの使用とする 理由:住民及び不特定多数の人々の展望台は、近隣(マンション住民)にとってのプライバシーと騒音の問題があります	基本方針の「(6)まちづくりの拠点となる庁舎」の中で、海や緑を望める展望デッキとしての利用を検討することを掲げており、津波の際の避難デッキとしても活用できるような展望デッキを設けることで想定しています。近隣のプライバシーに配慮した展望デッキの範囲、利用時間等について検討します。
10	工事	工事实施日時の件 建設と撤去工事の実施は平日の9:00~17:00頃をお願いします。	町が行う工事の場合、一般的に日曜・祝日を休工とし、作業時間を8:30~17:00とすることが多くありますが、本庁舎整備に関しては、近隣への影響を考慮し、今後決定する施工業者と、工程管理のバランスも図りながら作業時間について調整します。
11	工事	騒音対策について 建設・撤去時に大きな音が出ると思われますが、少しでも音を小さくする対策をお願いします	事業者の公募に当たっては、要求水準書において、関連法令を遵守するとともに、建設工事に伴い想定される騒音、振動、悪臭、粉塵等については近隣に与える影響を考慮し、影響を最小限に抑えるための工夫を行うよう記載します。工事に当たっては、事業者の決定後、近隣への騒音対策等について、施工業者と協議します。
12	その他	①隣接する葬儀場に移転してもらい、別棟などでは無く一体化した建物を住居のない東よりに建設する事は難しいのか	過去に話を伺ったこともありますが、現に営業されている状況であることや移転先の確保などの問題もあるため、移転等については困難な状況となっています。

番号	分類	意見	町の考え方
			す。
13	景観	②新庁舎の具体的な寸法→建て替え後、どのような景観になるのかが不透明で不安である。	現時点で想定している新庁舎の平面図については、別紙「平面図」を御参照ください。なお、こちらは現時点での想定であり、詳細は、今後プロポーザルによって決定した事業内容を基に基本設計・実施設計を進める中で近隣の方へお示ししていきます。
14	駐車場	③駐車場の出入口がマンション側になるとの事→平日はもちろん土日の騒音、通行量など考慮はあるか。	今後の基本設計・実施設計を進めていく中で、施設整備の面で対応できることや、駐車場の利用時間などの運用面から対応できることについて、両面から検討してまいります。
15	工事	④建て替え中駐車場が無いとの事 乳児の検診やどうしても車を利用するかたも居ると思うがどのような対策か。不法駐車（近隣に）などの心配はないか。	工事中の来庁者駐車場については、県営駐車場への駐車とシャトルバス運行のほか、現庁舎・保健センター内に数台を確保するよう検討します。また、近隣の不法駐車対策については、近隣の皆様の協力をいただきながら、貼り紙による周知などの対策を講じてまいります。
16	駐車場	1．駐車場に向かうアプローチする道路は何メートルの幅になりますか。	現時点での想定では、国道から駐車場までの車道通路の幅は6m～6.5mとし、往復の2車線を確保することとしています。詳細は、今後の基本設計・実施設計の中で決定していきます。
17	その他	2．国道から何メートルのところまで、役所の建物がくるのか	現時点の想定では、国道の道路境界から50cm～1mとしております。なお、こちらは現時点での想定であり、詳細は、今後プロポーザルによって決定した事業内容を基に、基本設計・実施設計を経て決定していきます。
18	その他	3．国道から風致地区の境目は何メートルのところになるのか。	道路境界から30mとなります。

番号	分類	意見	町の考え方
19	駐車場	4. 駐車場は平面駐車場で本当に決定か。資料は立体になってました。	現時点での想定では、新庁舎の駐車場は平面駐車場としています。 なお、こちらは現時点での想定であり、詳細は、今後プロポーザルによって決定した事業内容を基に、今後行う基本設計・実施設計の中で、駐車台数の計画、補助金の活用などから駐車場の形態について検討します。
20	その他	次回住民説明会の時に、特にレイアウト関係の詳細がわかる様な資料のアップデートをお願いします。	現時点で想定している新庁舎の配置と近隣の位置関係については、別紙「平面図」を参照ください。 なお、こちらは現時点での想定であり、詳細は、今後プロポーザルによって決定した事業内容を基に、基本設計・実施設計を経て決定していきます。
21	環境	1 気候危機やエネルギー危機に適応できる「スーパーエコ庁舎」の実現 地方自治体の脱炭素対策で最も効果が大きく優先すべきなのが公共施設の ZEB 化です。7 月 20 日の意見交換会で池田町長も「前の計画（スーパーエコ庁舎）を変えることはしない、ZEB 100%を目指します」と表明されました。国の脱炭素関連の補助金を活用すれば費用負担は抑えることができ、これから 50 年使う庁舎のランニングコスト削減、災害対策、環境教育などプラスの効果が見込めます。地球沸騰化が加速する時代、未来世代の負担を減らすためにも「スーパーエコ庁舎」の実現を要望します。	基本方針に「(4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎」を掲げており、ZEB の実現のため、費用対効果を見極めながら環境負荷低減技術の積極的な導入を検討します。
22	議場	2 町民に開かれた多目的に使える議場 大磯町には町民が利用できるホールがなく、議場を音楽会や講演会が開ける小さめのホールとしても使えるようにする案は、令和 5 年度の計画をまとめるときに音楽家の方から提案され多くの賛同がありました。閉会時に有効活用できる合理的な提案は議会でも歓迎	議場については、議席などの什器類を可動式とするなど、多目的に使うことができるような措置を講じることについて検討します。また、町民が集まって活動できる場所として、1 階に町民交流・協働スペースの設置を検討しています。

番号	分類	意見	町の考え方
		迎され承認されたと聞いています。男女同数で全国から注目を集める大磯町議会をより開かれた議会にする効果も期待できます。多目的ホールとして町民が利用できる議場を要望します。	
23	その他	計画変更の考え方について 当初予算では町の負担は 3.1 億円だったが、その後の見直しで 18.8 億円になったと説明があった。資材の高騰や法改正などを理由に挙げていたが、町長が当選直後に正当な理由もなくいたずらに耐震補強をするための診断をしたいと整備計画を先延ばしたことが負担増の原因になっているともいえる。 その上、緊急防災・減災事業債や防災対策事業債を受けるために津波対策である 6.5m の防護壁をなくして、止水版を設けるとはいえ津波が 1 階まで浸水することを想定し、また、駐車場に停めてある車は流されても仕方がないとの説明だった。町民の津波に対する危機意識は非常に大きい。町民の命と財産を守る役場の役割をはじめから放棄しているといえる。 地下 1 階は職員の休憩室や書庫や倉庫など必要なスペースだったはずである。今回事業債は高台移転が条件であるため、地下 1 階をなくした。職員の職場環境や必要なスペースが十分確保できないのであれば、働く意欲にも影響がでる。 町長は建物のボリュームが大きく圧迫感がある、と盛んに言われていたが、事業債をもらうために地下 1 階をなくしたために、建物が一回りおおきくなったためである。日本 3 大俳諧場である鳴立庵の隣に 3 階の別棟が建つことになれば、役場自ら景観破壊を行っている。	新庁舎整備については、基本計画の一部見直しにより、津波の影響を最小限に抑えるとともに、財政負担の軽減を図りながら進めてまいります。 なお、地下 1 階に設ける予定であった機能については、見直し後の新庁舎のプランにも取り込みながら、ゾーニングをまとめてまいります。 また、周辺環境と調和した外観デザインとするなど、地域性・景観性に配慮した措置を講じてまいります。

番号	分類	意見	町の考え方
		事業債をもらうために変更したことによりメリットよりデメリットが大きくなっている。本末転倒である。	
24	その他	新庁舎はさまざまな点で明るい未来につながるものであって欲しいと思い、前回 2021.11-12 のパブリックコメントで次の 2 点を要望しました。1. 木造庁舎の検討 2. 町民団体が活動に使えるスペース。 計画の見直し後も、以前に提出された意見をしっかりと採り入れていただきたいと思い、前回の意見に補足も加えて提出いたします。 1. 「木造建築は万が一 1 階が水に漬かった時に弱点がある」との見方もあるようだが、2 階以上を木造で作ることも考えられる。最近では上階だけを木造にしたビルなど、素材の適性を生かしたコンクリート、鉄骨とのハイブリッド工法の建物も数多い。CO2 を固定化する木材の多用、建設過程で CO2 排出を削減する木造は、町が目標とする ZEB の実現に沿うものだと考える。単に木材を内装に使うのではなく、(構造としての) 木造庁舎を実現することは国産材の使用、CO2 削減、木造建築の可能性など、未来につながる意義を持つ。そして、自然素材が醸す安心感は、気持ちのいい場所と人々が感じられる大事な要素だと思う。 2. 敷地条件によって施設面積の限界があるのは分かる。その条件のもと、頭を柔らかくして町民活動センターを捻出してほしい。町議会は町民の代表機関である。議会フロアに議員と町民が共用できる事務スペースやコピー機等を設けることは考えられないだろうか。	木造庁舎の検討については、基本方針の「(1)防災の拠点となる安全安心の庁舎」の中で、大規模な災害に耐えられる庁舎機能の維持が図れる構造の検討、基本方針の「(4)環境と共生する省エネルギーな庁舎」の中で、カーボンニュートラル(脱炭素社会)を視野に入れた庁舎や自然と共生する庁舎を目指すこととしていることから、「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準(国土交通大臣官房官庁営繕監修)」による耐震安全性の目標に従い、事業者の提案や基本設計の中で比較・検討していきます。 町民活動センターについては、新庁舎 1 階に町民が集まり活動できる町民交流・協働スペースを設置し、有料コピー機などの設置も検討しています。 議会フロアについては、議場の多目的利用などについて、議会とも協議を図りながら検討してまいります。

番号	分類	意見	町の考え方
25	環境	1 基本方針に「環境と共生する省エネルギーな庁舎」を掲げられていることは大いに賛成、期待します。それと財源に関連して、環境省の「建物等の ZEB 化・省 CO2 化普及加速事業」の支援制度の利用を強く希望します。	新庁舎整備に当たっては、ZEB の実現のための環境負荷低減技術の積極的な導入を検討するとともに、利用可能な補助金や支援制度の活用を検討します。
26	議場	2 議場について。以前の意見交換会では議会が使用していないときは、コンサートや講演会に使用できるようにしてほしいという案が出ていましたが、その案が取り入れられるように希望します。	議場については、コンサートや音楽ホールとしての活用は、敷地の面積や建物の法的な高さ制限などから難しいものの、議席などの什器類を可動式とするなど、多目的に使うことができるような措置を講じることについて、議会とも協議を図りながら検討します。
27	その他	3 図面を拝見しますと、一階に「町民交流スペース・情報発信スペース」とありますが、ぜひ町民が積極的に利用できるように整備していただきたいです。平塚にも二宮にも「市民（町民）活動センター」があり、ミーティングに使用できたり印刷機などが用意されています。町民の交流の場ともなりますのでぜひ検討をお願いします。	新庁舎 1 階の町民交流・協働スペースとして、町民が集まり活動できるスペースの設置を検討しています。具体的な運用方法については、建物の竣工に合わせて検討していきますが、コピー機の設置や、町民が利用しやすいよう、当初は予約不要でふらっと来てミーティングができるような場所を想定しています。
28	景観	説明会での意見にもあったように、大磯は高層の建物が少なく、それが空の広さや圧迫感のない景観への寄与になっていると思います。 国道 1 号線沿いぎりぎりに 4 階建ての建物がたつことの周辺地域との融和、景観への影響などしっかり熟慮した設計、住民への周知をお願いします。	基本方針「(6)まちづくりの拠点となる庁舎」の中で、大磯町らしさを感じさせる庁舎という項目を掲げています。自然環境を生かした、風景に調和した意匠や外観デザインの検討を行います。
29	環境	松の木含め、既存の樹木を残すようにお願いします。	既存樹木については、できる限り残すことについて検討します。
30	環境	太陽光パネルの設置のみでなく、ZEH の見本になるような庁舎。また、リサイクルやエネルギーの循環が可視化できるような工夫 (太陽光での発電量、断熱による、省エネ達成や比較など)	基本方針に「(4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎」を掲げており、ZEB の実現のため、費用対効果を見極めながら環境負荷低減技術の積極的な導入を検討します。

番号	分類	意見	町の考え方
31	環境	1. 敷地内の松の木を残してください。敷地内の松の木は現庁舎が建つ前からあったと聞いています。大磯町の歴史の証人でもあります。松の木を残し、生す新庁舎建設をお願いします。	既存樹木については、できるかぎり残すことについて検討します。
32	環境	2. 新庁舎は風致地区に建ちます。風致地区は大磯町の景観保全の基本です。樹木と共存する新庁舎を造ってください。	基本方針に「(4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎」の緑化環境の保全」や「(6)まちづくりの拠点となる庁舎」といった項目を掲げています。大磯町らしさを感じさせる庁舎、自然環境を生かした、風景に調和した庁舎について検討します。
33	環境	「新庁舎整備事業設計施工一括発注方式事業者選定委員会（仮称）」において、カーボンニュートラルの達成及びエネルギーコストの大幅削減、防災対策、環境教育の充実につながるという認識を共有し、ZEB を重視した要求水準書にすること。建築物のエネルギー効率化に専門的知見をもつ委員を入れること。	基本方針に「(4)環境と共生する省エネルギーな庁舎」を掲げており、ZEB の実現のため、費用対効果を見極めながら環境負荷低減技術の積極的な導入を検討します。また、新庁舎整備事業設計施工一括発注方式事業者選定委員会の委員については、庁舎整備事業全体を考慮して選任を行います。
34	環境	環境省の「建築物等の ZEB 化省 CO2 化普及加速事業」（＊一部経済産業省・国土交通省連携事業）等の補助金を活用できるようにすること。 今年度採択の約半数が ZEB（100%）、選考基準が高くなっている現状を関係部局で共有し、準備を着実に進めること。	基本方針に「(4) 環境と共生する省エネルギーな庁舎」を掲げており、ZEB の実現のため、費用対効果を見極めながら環境負荷低減技術の積極的な導入について検討します。
35	その他	事業者公募の設計施工一括発注について、どのような理由で設計施工一括発注としたのですか？建築家、設計事務所の単独プロポは不可なのですか？ 新庁舎整備に当たって、基本計画 6 つの基本方針が記されていますが、一般的な事項の網羅で、新庁舎に対する町としてのビジョンが明確ではありません。 大磯町は、海有り山ありの湘南の避暑地のイメージを持つ観光地であり、明治記念大磯邸園の新設、旧吉田茂邸を含め文化的価値の高い施設等観光的に高い	新庁舎整備事業に当たっては、早急に耐震性の課題を解決する必要があることから、施工会社が設計当初から参画し、設計・施工期間が短縮できること、施工会社の独自技術が活用できるといったメリットから、設計施工一括発注方式で行うこととしました。設計・施工を一括で行う事業者とするため、設計事務所の単独による参加は、現実的に困難と考えられます。 新庁舎の設計にあたっては、基本方針の「(6)まちづくりの拠点となる庁舎」に「大磯町らしさを感じさ

番号	分類	意見	町の考え方
		ポテンシャルを持つ町です。そして今後の街の発展を考えたとき、文化的な施設を持つ観光地としての整備が大変有効と考えます。今回の新庁舎整備の計画に当たって新庁舎に求められるビジョンとして100年後に文化財として残る庁舎の新設が重要と考えます。文化的観光の要素を持つ明治記念大磯邸園、旧吉田茂邸が並ぶ国道1号線を観光ルートとして考えた時、新庁舎はその起点となる重要な所に位置しています。43.6億円の費用を単なる箱モノとしてはいけないと思います。 そうして考え方に立って新庁舎整備を進めるとき、新庁舎に文化的価値を持たせる設計が重要です。事業者公募の設計施工一括発注は会社経営を優先した効率一辺倒の提案がされるときかと思えない公募方法ではないでしょうか。どのような案が出てくるのかは今の段階では判断できませんが、ぜひ今回の設計に当たっては建築家（出来れば有名建築家への要請）等の参加ができるようにしてもらいたいと思います。多少設計料の変更が必要になるかもしれませんが、計画全体また建物の良し悪しは設計で決まります。そして建築家は100年後に文化財として残る庁舎建物としての町庁舎の機能性を考えた建築デザイン及び敷地全体のランドスケープデザイン、そして大磯町の持つ文化的ポテンシャルの更なる向上を考えた提案を行ってくれるでしょう。このような設計思想を持つ庁舎であれば、文化的観光地のイメージを持つ大磯町にとっても大変有意義な事業になると思います。町政は確かに今の町民の暮らし易さを優先させなければなりませんが、施設の形として将来に残っていく新庁舎には今後の大磯町のビジョンとして文化財級の価値を持つものとして残していくという気概があってよいと思います。予算・スケジュール等諸般の事情があるかと思いますが、それを優先順位とすることなく、池田町長には旗振り役としての一考とリーダーシップを期待	せる庁舎」を掲げています。外観の工夫や風景に調和した意匠の検討など、必要な措置を講じてまいります。

番号	分類	意見	町の考え方
		します。	
36	その他	1. 現在の庁舎の場所で建て替えするのには反対	建設場所については、令和2年4月に策定した「大磯町役場本庁舎整備庁内検討会報告書」において、移転に伴う用地取得の時間や用地購入の事業費がかかること、耐震性の不足や施設の老朽化といった現庁舎の課題への早急な対応が必要であること、これらの観点から建設地については「現庁舎敷地」を選定し、これを基に基本構想や基本計画をまとめています。 新庁舎整備については、基本計画を一部見直して実施してまいりますが、耐震性の不足といった現庁舎の課題に早急に対応するため、現庁舎敷地での建替えにより進めてまいります。
37	その他	2. 消防署と磯中の老朽化は災害時に対応できないので建て替えを優先すべき	役場の現庁舎は平成13・14年度に防災対策工事（耐震補強）を行ったものの、防災拠点としての十分な耐震性が現在も確保されておらず、耐震性の面から早期に建て替える必要があると考えています。
38	景観	3. 庁舎の高層化は町の景観を損ない、坂田山から大島を望む眺望を覆い隠すことになる	基本方針の「(6)まちづくりの拠点となる庁舎」の大磯らしさを感じさせる庁舎にあるとおり、自然環境を生かした、風景に調和した意匠の検討を行います。
39	その他	4. 過剰な建て替え費用を次世代に負わすべきではない。	新庁舎の建替えに当たっては、基本計画の一部見直しにより、事業費総額の削減や国の地方交付税が措置される地方債の活用により、町の財政負担の軽減を図ります。併せて、これまで積み立ててきた本庁舎建設基金も活用し、将来世代の財政負担軽減にも努めます。

平面図

国道1号線

鳴立庵

駐車場

西湘バイパス

(保健センター)

第1種低層住居専用地域

近隣商業地域

風致地区

町民交流スペース
情報発信スペース
守衛・宿直

保健C機能
会議室

(現庁舎)

職員更衣室・休憩室等

来客用

スロープ

